

～川の防災について～

南本町小学校5年生が関川について学びました！

● 実施概要

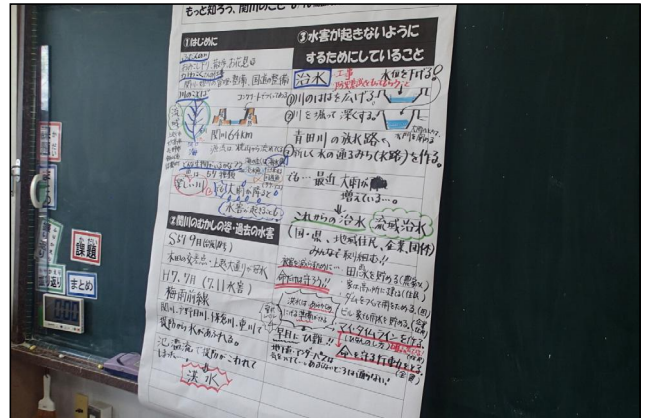
- 日時：令和8年6月16日(火) 3限 10:30～11:30
場所：南本町小学校 教室
参加者：南本町小学校5年生 38名
内容：1. 室内講座～プレゼンテーション資料を用いた関川の学習～
- ① 関川ってどんな川？(関川の源流や長さについて)
 - ② 関川にいる生き物(魚類・鳥類・ほ乳類ほか クイズ形式)
 - ③ 過去の水害の様子
 - ④ 治水の方法(河川整備・青田川放水路や矢代川付け替え)
 - ⑤ 流域治水・マイタイムラインの考え方

2. 質問タイム

● 出前講座の様子



関川に住んでいる生き物について、クイズ形式を交えて楽しく学びました。



先生より内容を分かりやすく整理していただきました。地震と違って、洪水は事前に備えることができるため、早めの避難が大切であると、最後にみんなで確認しました。



過去の水害の様子や被害を減らすためにどんな対策を進めてきたのかを学びました。近年は気候変動により大雨の頻度が増え、洪水の規模も大きくなってきていることから、流域のみんなで取り組む「流域治水」に取り組んでいることも学びました。

《児童のみなさんからの質問と回答》

- Q1：関川では今、どんな治水対策をしていますか？
A1：川岸を掘って広くすることで、流れる水の量を多くする工事をしています。他にも堤防の維持管理や測量を行っています。
- Q2：川の中に危険な生き物はいますか？
A2：草むらや木がある場所にはハチやヘビが住んでいることがあります。最近ではクマもいるかもしれません。特に朝晩に川に近づく時は気を付けましょう。
- Q3：川で遊んでもいいですか、危険はありますか？
A3：堤防の上を散歩するなど安全な場所もありますが、水際など危険な場所もあります。川で遊ぶ時は必ず大人と一緒に行きましょう。